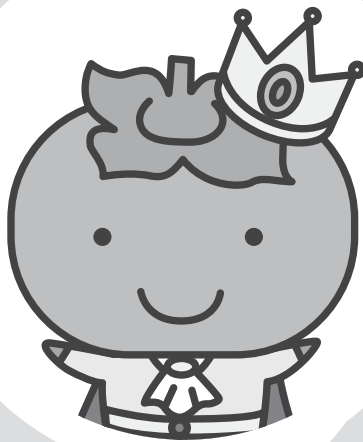


かつらぎ町勢要覧

資料編

かつらぎ町 2020





目次

● 自然	概況、気象、月別気象状況、地目別面積の状況	1
● 人口	国勢調査による人口、男女別年齢構成人口、人口の動態、大字別世帯数および人口	2～3
● 行政	町の沿革、歴代町長、歴代副町長、歴代助役、歴代収入役、行政構成図	4
● 財政	一般会計歳入歳出決算額の推移、特別会計決算額、企業会計決算額	5
● 議会・選挙	町議会議員、歴代議長、歴代副議長、有権者数の状況、選挙の投票状況	6～7
● 保健・衛生	医療機関の状況、各種健康保険の状況、各種予防接種及び検診の状況	7
● 生活環境	斎場の火葬状況、斎場の利用状況、し尿処理の推移、ごみ処理の推移	8
● 社会福祉	社会福祉の状況、国民年金被保険者の状況、こども園の入所状況、国民年金・拠出金の給付状況	9
● 運輸	自動車台数	9
● 生活の安全	救急業務の状況、交通事故発生の状況、消防施設等の状況、火災発生及び被害の状況	10
● 建設	道路の状況、橋梁の状況	10
● 水道	水道給水の状況	11
● 産業	農家数の推移、経営耕地規模別農家数、経営土地種別面積、年間販売額の推移、商業の状況、工業の状況、産業大分類別就業人口	11～12
● 教育	中学校の状況、小学校の状況、幼稚園の状況、指定文化財一覧	13～14
● 年表	年表(旧花園村)、年表	15～21
● 町内の主な官公署等の一覧		21



自然

概況

和歌山県の北東部、伊都郡の北部に位置し、北に和泉山脈、南に紀伊山地を仰ぎ、町の中心部を紀の川が東西に流れています。

道路交通状況は、京都府および奈良県に通じる京奈和自動車道、奈良県に通じる国道24号、大阪府に通じる国道480号、県内を結ぶ国道370号が町内を縦横に通っており、またJR和歌山線が紀の川と平行して走っています。

町域は、東経135度26分から135度36分、北緯34度5分から34度21分で、面積は151.69km²、東西14.7km、南北29.3kmとなっています。隣接する市町村は、東に橋本市、九度山町、高野町、奈良県野迫川村、北に大阪府河内長野市、和泉市、岸和田市、西に紀の川市、南に海草郡紀美野町、有田郡有田川町があり、町の境界は一部府県界、郡界にもなっています。

気象

瀬戸内気候区に属し、気象資料については、かつらぎ地域気象観測所の平年値（1981－2010）でみると、降水量は年間平均1358ミリで、冬は少なく夏は多い。12月が49.6ミリと最も少なく、最も多いのが梅雨期の6月の196.8ミリで、次いで台風期の9月の167.7ミリとなっています。また、年平均気温は14.6℃で、月平均では8月が高く26.3℃、1月が低く3.7℃となっています。

年間を通じ比較的温暖、乾燥した気候ですが、時にはおそ霜の被害が発生します。

●資料(和歌山地方気象台)

月別気象状況

※観測期間 平成31年1月～令和元年12月

区分 月	気 温 (°C)			日照時間 (h)	降水量 (mm)
	平均	最高	最低		
1月	3.9	13.0	-3.6	126.1	27.5
2月	5.7	17.6	-3.3	127.4	84.0
3月	8.4	22.0	-1.9	149.9	84.5
4月	12.7	26.4	-0.8	189.0	73.5
5月	18.1	32.7	2.5	241.1	113.0
6月	21.4	31.5	13.4	166.3	214.0
7月	24.3	34.4	18.8	111.3	291.5
8月	26.4	35.8	18.0	191.0	266.0
9月	23.9	34.4	12.5	188.2	39.5
10月	18.0	32.4	8.9	109.4	259.5
11月	10.9	23.7	0.4	186.6	28.0
12月	7.0	17.3	-0.7	120.3	72.0

●資料(和歌山地方気象台)



地目別面積の状況 (平成29年1月1日現在)

(単位: km²)

総面積	地 目 別 面 積					
	田	畑	宅地	山林	雑種地	その他
151.69km ²	2.99	19.56	4.07	57.37	2.10	65.59
総面積比 (%)	2.0	13.0	2.7	37.8	1.4	43.1

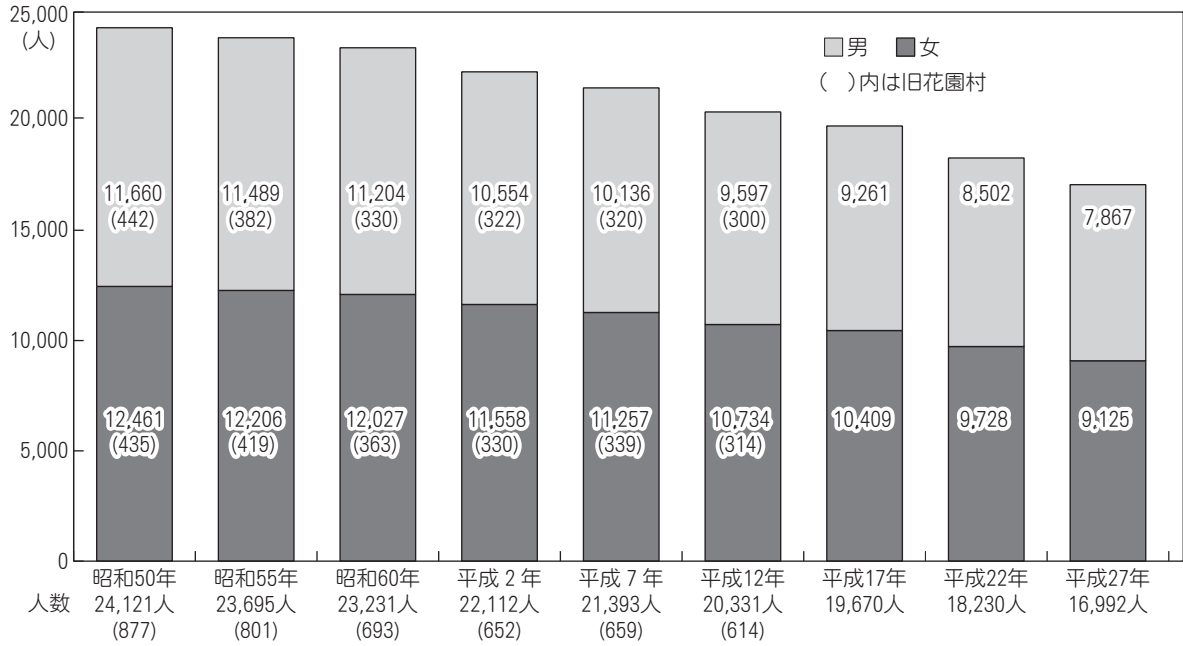
●資料(統計年鑑)



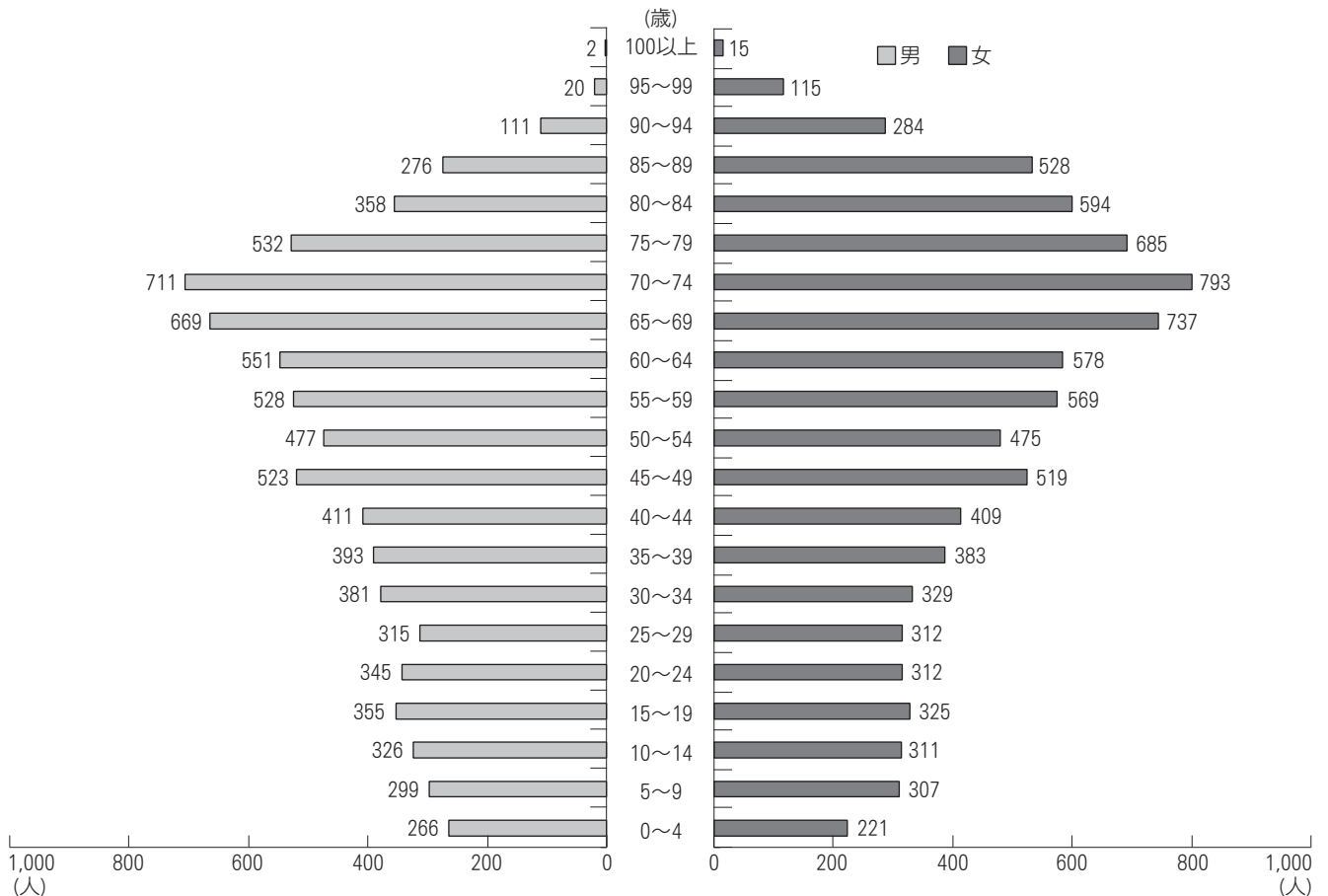
人口

● 国勢調査による人口

この表は各年10月1日現在で行われた“国勢調査”の結果です。



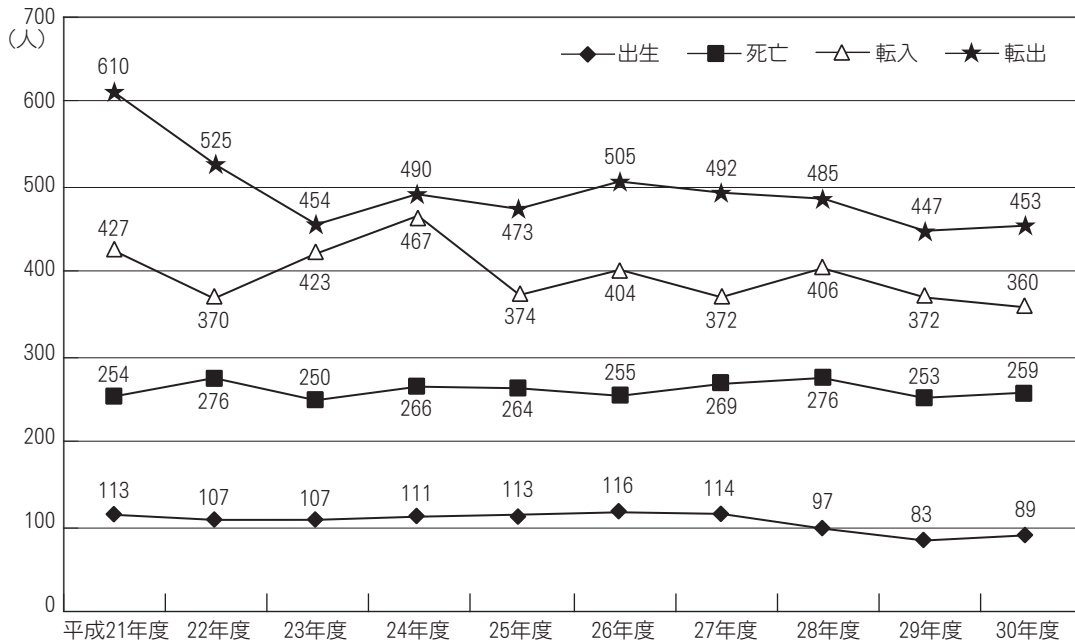
● 男女別年齢構成人口 (令和元年12月末現在)





人口

● 人口の動態 (毎年3月末日現在)



● 大字別世帯数及び人口 (令和元年12月末日現在)

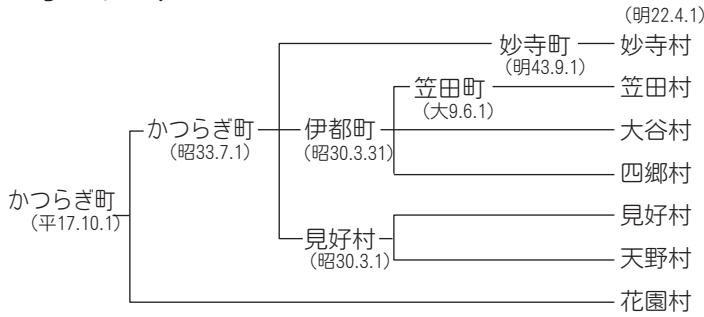
(単位：人)

大字	区分	世帯数	人口			大字	区分	世帯数	人口					
			男	女	計				男	女	計			
高	田	136	108	151	259	星	川	40	45	46	91			
	移	28	35	33	68	東	洪	田	348	380	420	800		
背	ノ	山	33	46	42	88	宮	本	16	20	14	34		
	窪	36	41	59	100	平	沼	田	29	34	44	78		
萩	原	69	79	98	177	寺	尾	64	74	81	155			
笠	田	中	263	325	345	670	兄	井	69	85	88	173		
笠	田	東	924	964	1,096	2,060	三	谷	199	228	259	487		
佐	野	571	602	657	1,259	教	良	寺	53	62	65	127		
広	浦	16	19	25	44	山	崎	45	66	69	135			
大	谷	300	339	374	713	志	賀	92	88	91	179			
蛭	子	50	58	59	117	上	天	野	27	34	32	66		
大	藪	156	214	215	429	下	天	野	88	98	105	203		
柏	木	141	147	184	331	神	田	5	6	6	12			
丁	ノ	町	810	841	977	1,818	新	城	65	62	59	121		
新	田	113	114	126	240	広	口	72	68	93	161			
妙	寺	970	1,085	1,256	2,341		滝		55	70	74	144		
中	飯	降	417	453	510	963		平	55	67	71	138		
西	飯	降	125	164	180	344	東	谷	45	45	41	86		
短	野	76	113	124	237	花	園	久	木	7	5	3	8	
大	畑	14	14	13	27	花	園	中	南	14	9	13	22	
西	洪	田	254	294	301	595	花	園	新	子	10	7	7	14
	島	40	41	49	90	花	園	北	之	窪	3	0	3	3
日	高	17	12	14	26	花	園	北	寺	15	12	18	30	
星	山	18	21	25	46	花	園	梁	瀬	125	96	119	215	
御	所	50	59	67	126		合	計	7,168	7,849	8,801	16,650		



行政

● 町の沿革

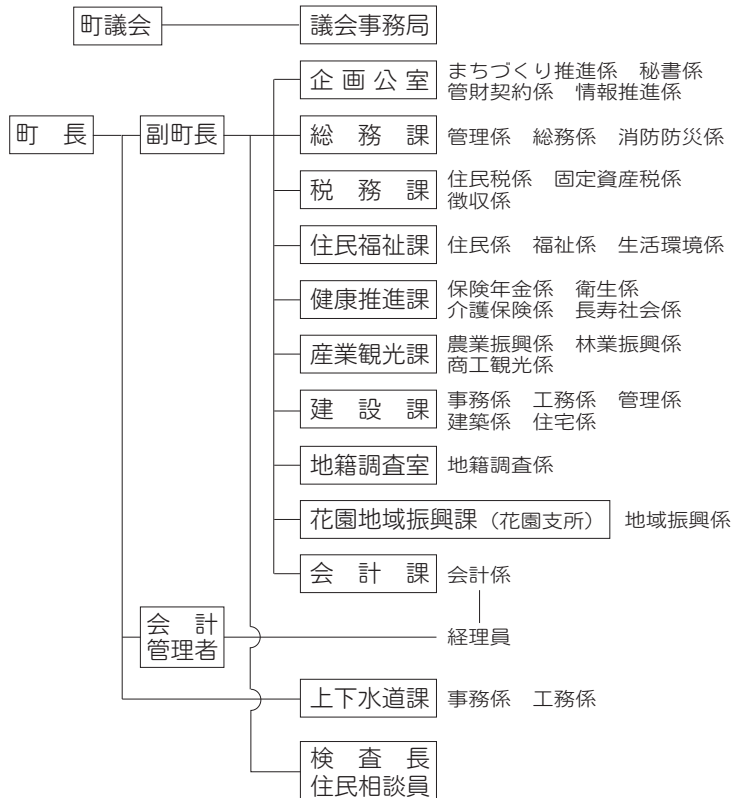


● 歴代助役

氏名	就任年月日	退任年月日
池田 一郎	昭33.12.26	～ 昭38. 3. 2
木村 重雄	昭38. 3. 3	～ 昭49. 9.10
坂田 徳一	昭49. 9.11	～ 昭58. 6.20
森岡 彦太	昭59. 3.29	～ 昭62. 4.30
華岡 梓	昭62.10.23	～ 平 7. 4. 9
山本 恵章	平 7.11. 7	～ 平15. 8.15
廣畑 晴夫	平15.10.17	～ 平17.10.31

※昭和33年 7月 1日～12月25日不在
 昭和58年 6月21日～昭和59年 3月28日不在
 昭和62年 5月 1日～10月22日不在
 平成 7年 4月10日～11月 6日不在
 平成15年 8月16日～10月16日不在
 平成17年11月 1日～平成19年 3月31日不在

● 行政機構図 (平成31年 4月 1日現在)



● 歴代町長

氏名	就任年月日	退任年月日
戸西 倍一	昭33. 7.27	～ 昭34.11. 4
澤井 政造	昭34.12. 6	～ 昭42.10. 2
中谷 政夫	昭42.10.14	～ 昭50.10.13
木村 重雄	昭50.10.14	～ 昭58.10.13
溝端 康雄	昭58.10.14	～ 平 7.10.13
南 衛	平 7.10.14	～ 平15.10.13
山本 恵章	平15.10.14	～ 平23.10.13
井本 泰造	平23.10.14	～ 令元.10.13
中阪 雅則	令元.10.14	～ 在任中

※昭和33年 7月 1日～7月26日は職務執行者
 昭和34年11月 5日～12月 5日は職務代理者
 昭和42年10月 3日～10月13日は職務代理者

● 歴代副町長

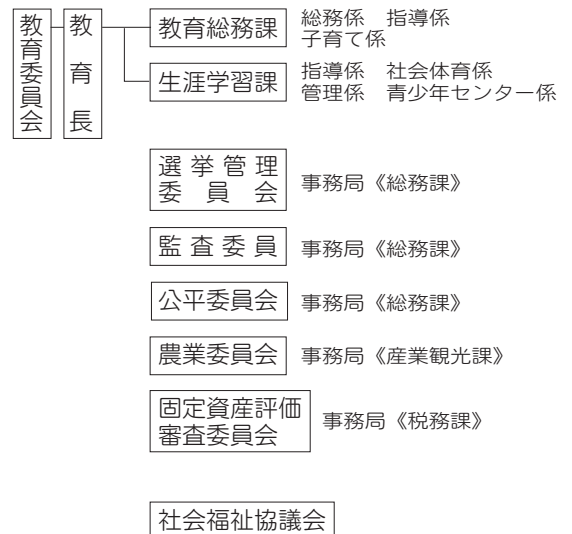
氏名	就任年月日	退任年月日
北浦 亮三	平19. 4. 1	～ 平23. 3.31
豊岡 博行	平23.12. 7	～ 令元.10.13

※平成23年 4月 1日～12月 6日不在
 令和元年10月14日～不在

● 歴代収入役

氏名	就任年月日	退任年月日
坂田 徳一	昭33. 8.30	～ 昭49. 8.29
原 延年	昭49. 9. 6	～ 昭61. 9.10
南 衛	昭61.11. 5	～ 平 7. 6.30
廣畑 晴夫	平 7.11. 7	～ 平15.10.13
北浦 亮三	平17.10. 1	～ 平19. 3.31

※昭和33年 7月 1日～8月29日は職務代理者
 昭和49年 8月30日～9月 5日は職務代理者
 昭和61年 9月11日～11月 4日は職務代理者
 平成 7年 7月 1日～11月 6日は職務代理者
 平成15年10月14日～平成17年 9月30日は職務代理者





財 政

● 一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位：千円)

【歳入】	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1. 町 税	2,080,273	2,083,906	2,088,700	2,028,631	2,034,425	2,014,945	2,014,820
2. 地 方 譲 与 税	107,670	104,306	104,297	108,878	98,008	97,541	98,312
3. 利 子 割 交 付 金	7,709	7,508	5,945	4,889	3,460	5,203	5,106
4. 配 当 割 交 付 金	5,845	11,021	19,948	14,683	8,527	11,511	8,958
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,070	14,299	9,531	11,905	4,238	11,197	7,449
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	148,011	146,749	179,274	309,211	275,410	285,786	303,193
7. ゴルフ場利用税交付税	8,040	7,688	8,296	7,320	7,238	7,065	6,993
8. 自動車取得税交付金	33,535	28,457	13,209	24,158	22,741	30,269	30,519
9. 地方特例交付金	6,562	6,340	6,987	6,454	6,318	6,911	8,272
10. 地 方 交 付 税	3,849,808	3,925,647	3,834,151	3,950,185	3,737,499	3,613,712	3,684,166
11. 交通安全対策特別交付金	4,465	3,976	3,619	3,561	2,971	2,637	2,321
12. 分担金及び負担金	71,677	74,512	81,348	81,788	74,492	79,970	76,401
13. 使用料及び手数料	122,021	127,130	122,458	124,385	123,295	120,375	125,834
14. 国 庫 支 出 金	1,009,570	894,508	847,384	921,982	923,731	1,024,012	819,572
15. 県 支 出 金	796,752	590,354	740,789	802,182	855,780	802,444	758,860
16. 財 産 収 入	59,733	46,749	54,905	34,580	32,407	26,639	71,362
17. 寄 附 金	4,140	9,236	44,582	64,997	106,411	138,808	187,193
18. 繰 入 金	307,746	364,980	521,806	253,723	611,404	703,421	445,824
19. 繰 越 金	230,437	288,038	295,537	402,055	476,213	293,502	304,103
20. 諸 収 入	1,240,009	1,138,008	189,857	188,737	158,095	254,408	170,825
21. 町 債	1,566,900	2,539,800	1,425,800	2,448,400	1,336,700	1,333,200	1,031,400
歳 入 合 計	11,661,973	12,413,212	10,598,423	11,792,704	10,899,363	10,863,556	10,161,483

【歳出】	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
1. 議 会 費	96,517	88,773	93,038	99,085	99,005	99,111	97,771
2. 総 務 費	1,293,288	2,612,124	1,397,770	1,460,063	1,313,986	1,285,577	1,264,585
3. 民 生 費	2,406,443	2,449,129	2,826,276	3,675,203	3,020,192	2,845,588	2,729,708
4. 衛 生 費	705,985	868,968	715,174	732,070	712,541	686,811	714,806
5. 農 林 水 産 業 費	420,665	562,721	639,341	682,768	1,004,471	857,528	456,493
6. 商 工 費	123,592	104,659	151,196	291,391	128,783	191,392	112,589
7. 土 木 費	1,020,875	1,262,410	998,936	1,318,438	1,111,816	1,397,100	1,112,281
8. 消 防 費	373,517	406,177	362,044	415,063	395,464	397,724	393,140
9. 教 育 費	1,848,357	823,713	1,014,860	865,466	872,266	794,320	861,683
10. 災 害 復 旧 費	280,556	43,286	53,210	28,242	33,790	97,434	239,576
11. 公 債 費	1,538,107	1,650,536	1,512,446	1,468,003	1,560,962	1,607,829	1,465,632
12. 諸 支 出 金	1,266,033	1,245,180	434,164	280,700	352,585	299,039	364,126
歳 出 合 計	11,373,935	12,117,676	10,198,455	11,316,492	10,605,861	10,559,453	9,812,390

● 特別会計決算額 (平成30年度)

(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出
シ ャ ッ ク セ ン タ ー	67,249	67,162
国 民 健 康 保 険 事 業	2,635,883	2,601,238
天 野 診 療 所 事 業	8,298	8,072
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	553,442	549,454
介 護 保 険 事 業	2,757,664	2,668,080
下 水 道 事 業	613,915	597,085
花 園 地 域 交 流 推 進 施 設 運 営 事 業	60,142	60,047
花 園 守 口 ふ る さ と 村 運 営 事 業	20,802	20,802
花 園 梁 瀬 簡 易 水 道 事 業	5,431	4,052
合 計	6,722,826	6,575,992

● 企業会計決算額 (平成30年度)

(単位：千円)

水道事業	収益の収入	423,599
	収益の支出	355,770
	資本の収入	68,159
	資本の支出	188,823



議会・選挙

● 町議会議員 (令和元年12月31日現在)

議席	氏名	所属党派	所属委員会
1	福井 強太	無所属	厚生文教
2	松岡 宏行	無所属	○総務産業
3	藤本 憲一	無所属	○厚生文教
4	小林 総一	無所属	◎総務産業
5	溝北 好一	無所属	◎厚生文教
6	福岡 久二子	無所属	厚生文教
7	氏岡 誠	無所属	総務産業
8	浦中 隆男	無所属	総務産業
9	赤坂 岩男	無所属	総務産業
10	大原 清明	無所属	厚生文教
11	東芝 弘明	日本共産党	総務産業
12	宮井 健次	日本共産党	厚生文教
13	雑賀 増己	無所属	厚生文教
14	新堀 行雄	無所属	

(◎…常任委員長 ○常任副委員長)

● 歴代議長

氏名	就任年月日	退任年月日
三田 玄房	昭33. 8. 6	昭34.11.28
辻本 伝一郎	昭34.12.19	昭37. 7.26
胡麻 正義	昭37. 8. 1	昭38. 7.31
森田 繁右工門	昭38. 8. 1	昭39. 7.31
森脇 桂一郎	昭39. 8. 1	昭41. 7.26
畠中 庄一	昭41. 8. 3	昭43. 8. 5
宇野 勝	昭43. 8. 5	昭45. 7.26
北田 通	昭45. 7.28	昭49. 7.26
山田 義晴	昭49. 8. 2	昭51. 7.30
里神 昌雄	昭51. 7.30	昭52. 7.29
山本 定	昭52. 7.29	昭53. 7.26
関原 茂三	昭53. 8. 2	昭55. 8. 1
松本 吉正	昭55. 8. 1	昭57. 7.26
宮本 忠次	昭57. 7.28	昭59. 7.26
山添 義明	昭59. 7.27	昭61. 7.26
木村 皖一	昭61. 7.28	昭63. 7.27
前畑 和美	昭63. 7.28	平 2. 7.26
森 信太郎	平 2. 7.30	平 4. 7.28
井本 菊弘	平 4. 7.28	平 6. 7.26
向江 祥晃	平 6. 7.28	平 8. 7.30
森 敏夫	平 8. 7.30	平10. 7.26
山田 昌美	平10. 7.30	平12. 7.26
塚本 恒雄	平12. 7.26	平14. 7.26
前田 佳昭	平14. 7.30	平18. 7.26
西林 武仁	平18. 8. 1	平20. 7.28
田和 弘満	平20. 7.28	平22. 7.26
大原 清明	平22. 7.28	平24. 8. 1
堀 龍雄	平24. 8. 1	平26. 7.26
赤坂 岩男	平26. 7.30	平28. 8. 2
浦中 隆男	平28. 8. 2	平30. 7.26
新堀 行雄	平30. 7.30	在任中

● 歴代副議長

氏名	就任年月日	退任年月日
森脇 桂一郎	昭33. 8. 6	昭35. 6.15
向山 博一	昭35. 6.15	昭37. 7.26
宇野 勝	昭37. 8. 1	昭38. 7.31
北田 通	昭38. 8. 1	昭39. 7.31
畠中 庄一	昭39. 8. 1	昭41. 7.26
岡村 憲一	昭41. 8. 3	昭41. 8.21
溝端 康雄	昭41. 9. 1	昭43. 8. 5
北田 通	昭43. 8. 5	昭45. 7.26
山本 定	昭45. 7.28	昭47. 7.27
里神 昌雄	昭47. 7.28	昭49. 7.26
関原 茂三	昭49. 8. 2	昭51. 7.30
松本 吉正	昭51. 7.30	昭52. 7.29
築野 秀太郎	昭52. 7.29	昭53. 7.26
浦藪 英夫	昭53. 8. 2	昭55. 8. 1
山添 義明	昭55. 8. 1	昭57. 7.26
西谷 涉	昭57. 7.28	昭59. 7.26
木村 皖一	昭59. 7.27	昭61. 7.26
前畑 和美	昭61. 7.28	昭63. 7.27
田中 欽也	昭63. 7.28	平 2. 7.26
井本 菊弘	平 2. 7.30	平 4. 7.28
向江 祥晃	平 4. 7.28	平 6. 7.26
森 敏夫	平 6. 7.28	平 8. 7.30
山田 昌美	平 8. 7.30	平10. 7.26
塚本 恒雄	平10. 7.30	平12. 7.26
前田 佳昭	平12. 7.26	平14. 7.26
田和 弘満	平14. 7.30	平18. 7.26
平井 義照	平18. 8. 1	平20. 7.28
大原 清明	平20. 7.28	平22. 7.26
堀 龍雄	平22. 7.28	平24. 8. 1
赤坂 岩男	平24. 8. 1	平26. 7.26
浦中 隆男	平26. 7.30	平28. 8. 2
新堀 行雄	平28. 8. 2	平30. 7.26
雑賀 増己	平30. 7.30	在任中

●資料 (議会事務局)

● 有権者の状況 (令和元年12月2日現在)

(単位:人)

投票区別	男	女	計	投票区別	男	女	計
第1投票所(高田)	98	143	241	第18投票所(中飯降)	440	491	931
第2投票所(広口)	91	114	205	第19投票所(山崎)	62	61	123
第3投票所(滝)	42	48	90	第20投票所(教良寺)	59	62	121
第4投票所(東谷)	44	42	86	第21投票所(三谷)	206	243	449
第5投票所(平)	50	46	96	第22投票所(寺尾)	165	189	354
第6投票所(笠田西部)	166	193	359	第23投票所(宮本)	45	45	90
第7投票所(笠田中)	272	298	570	第24投票所(東渋田)	308	338	646
第8投票所(笠田東)	791	940	1,731	第25投票所(西渋田)	294	325	619
第9投票所(真和)	275	333	608	第26投票所(四邑)	128	138	266
第10投票所(佐野)	305	341	646	第27投票所(志賀)	82	88	170
第11投票所(柏木)	142	165	307	第28投票所(天野)	124	126	250
第12投票所(大谷)	461	515	976	第29投票所(新城)	54	55	109
第13投票所(丁ノ町)	594	691	1,285	第30投票所(花園新子)	19	28	47
第14投票所(妙寺南)	664	784	1,448	第31投票所(花園久木)	14	17	31
第15投票所(妙寺北)	583	686	1,269	第32投票所(花園梁瀬)	91	115	206
第16投票所(広野)	80	80	160				
第17投票所(短野)	23	27	50				
				合計	6,772	7,767	14,539

※()内は投票所所在地もしくは投票区域を記載。

● 選挙の投票状況

選挙の種類	執行日	当日有権者数(人)			投票者数(人)			投票率(%)
		総数	男	女	総数	男	女	
町議会議員	平成26年7月13日	15,272	7,054	8,218	11,325	5,176	6,149	74.16
和歌山県知事	平成26年11月30日	15,216	7,026	8,190	8,148	3,765	4,383	53.55
衆議院議員(小選挙区)	平成26年12月14日	15,302	7,076	8,226	8,938	4,239	4,699	58.41
参議院議員(選挙区)	平成28年7月10日	15,259	7,050	8,209	9,432	4,424	5,008	61.81
衆議院議員(小選挙区)	平成29年10月22日	14,963	6,923	8,040	8,948	4,232	4,716	59.80
町議会議員	平成30年7月22日	14,740	6,851	7,889	9,232	4,278	4,954	62.63
和歌山県知事	平成30年11月25日	14,684	6,832	7,852	7,377	3,459	3,918	50.24
参議院議員(選挙区)	令和元年7月21日	14,587	6,791	7,796	8,927	4,202	4,725	61.20
町長	令和元年9月22日	14,478	6,737	7,741	9,897	4,571	5,326	68.36

※平成27年の町長選挙は、無投票。
平成27年及び平成31年の県議会議員選挙は、無投票。



保健・衛生

● 医療機関の状況 (令和元年12月31日現在)

区分	総合病院	診療所 (国保直診)	医院	歯科医院	眼科医院	耳鼻咽喉科 医院	施術所・ 柔整医院など	計
医療機関数	1	1	11	10	1	1	13	38
ベッド数	104	0	0	0	0	0	0	104

● 各種健康保険の状況

区分 年度	国民健康保険			介護保険			後期高齢者医療保険		
	被保険者数 (人)	保険給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)	被保険者数 (人)	保険給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)	被保険者数 (人)	保険給付費 (千円)	一人当たり 給付費(円)
平成24年度	6,264	1,724,070	275,234	6,134	2,186,486	356,452	3,465	3,340,485	964,065
平成25年度	6,156	1,776,120	288,518	6,255	2,275,155	363,735	3,439	3,316,028	964,242
平成26年度	6,037	1,814,693	300,595	6,379	2,379,883	373,080	3,440	3,452,112	1,003,521
平成27年度	5,916	1,979,071	334,528	6,450	2,434,106	377,380	3,452	3,474,175	1,006,424
平成28年度	5,679	1,882,627	331,502	6,472	2,394,874	370,036	3,485	3,384,067	971,038
平成29年度	5,432	1,810,944	333,384	6,468	2,412,439	372,981	3,521	3,603,412	1,023,406
平成30年度	5,180	1,772,121	342,108	6,505	2,427,145	373,120	3,551	3,516,267	990,219

●資料(健康推進課)

● 各種予防接種及び検診の状況 (平成30年度)

区分	胃がん 検診	乳がん 検診	子宮頸がん 検診	大腸がん 検診	前立腺がん 検診	肺がん 検診	3歳 児健診	1歳6 か月児 健診	4・6 か月児 健診
対象人員	7,244	4,490	4,926	7,244	2,611	7,244	120	95	178
実施人員	1,282	1,119	1,059	1,991	774	2,148	120	94	177
実施率(%)	17.7%	24.9%	21.5%	27.5%	29.6%	29.7%	100%	98.9%	99%

※乳がん・子宮頸がん検診は国の算出基準に基づき、平成29・30年度の実施人員を計上し、実施率を算出しています。

●資料(健康推進課)



生活環境

● 斎場の火葬状況

(単位：体)

年度	町内				町外				計
	男	女	その他	計	男	女	その他	計	
平成24年度	135	127	3	265	2	4	0	6	271
平成25年度	130	123	1	254	3	1	0	4	258
平成26年度	122	134	4	260	3	0	0	3	263
平成27年度	118	141	4	263	5	1	0	6	269
平成28年度	137	138	2	277	5	5	0	10	287
平成29年度	120	124	3	247	2	1	0	3	250
平成30年度	122	125	3	250	2	4	0	6	256

●資料(住民福祉課)

● 斎場(通夜・告別式)の利用状況

(単位：体)

年度	町内・通夜及び告別式		町外・通夜及び告別式		計
	男	女	男	女	
平成24年度	20	19	0	1	40
平成25年度	9	14	0	0	23
25告別式のみ	1	0	0	0	1
平成26年度	11	18	1	0	30
26告別式のみ	2	1	0	0	3
平成27年度	17	26	0	0	43
27告別式のみ	1	1	0	0	2
平成28年度	14	14	1	0	29
平成29年度	18	17	0	0	35
平成30年度	14	17	0	1	32
30告別式のみ	3	4	0	0	7

●資料(住民福祉課)

● し尿処理の推移

(単位：kℓ)

年度	区分	生し尿	浄化槽汚泥	計
平成24年度		5,720	2,401	8,121
平成25年度		5,534	2,466	8,000
平成26年度		5,631	2,175	7,806
平成27年度		4,959	3,344	8,303
平成28年度		4,274	3,953	8,227
平成29年度		4,208	3,787	7,995
平成30年度		4,019	4,048	8,067

●資料(住民福祉課)

● ごみ処理(年間収集量)の推移

(単位：t)

年度	区分	古紙等	その他プラ	ペットボトル	可燃ごみ	粗大(可燃)	缶類	ビン類	破碎選別	粗大(破碎)	有害危険ごみ	埋立ごみ	計
平成24年度		608	116	33	2,849	137	64	178	114	84	19	54	4,256
平成25年度		573	125	35	2,937	224	60	172	117	83	19	52	4,397
平成26年度		555	123	33	3,013	185	56	160	120	73	19	50	4,387
平成27年度		541	126	32	3,020	173	54	161	121	73	20	52	4,373
平成28年度		505	131	33	2,876	199	52	154	118	83	20	58	4,229
平成29年度		404	130	32	2,887	255	49	149	116	91	20	54	4,187
平成30年度		344	129	32	2,864	277	47	145	120	109	20	65	4,152

※平成21年8月から、橋本市周辺広域ごみ処理場「エコライフ紀北」へ搬入処理開始。
 ※ビン類のうち生きビン並びに古紙等は、町独自の処理。

●資料(住民福祉課)



社会福祉

● 社会福祉の状況

施設区分	施設数
認定こども園	2
母子寮	1 (事務組合)
老人ホーム	3 (うち事務組合1)
児童公園	22
老人憩の家	1
児童館	12
ゆうゆうコミュニティホーム	1
高齢者生活福祉センター	1

● 国民年金被保険者の状況

(単位：人)

区分 年度	被 険 者 種 別			
	総 数	第1号 (強制)	第1号 (任意)	第3号
平成24年度	3,905	2,809	29	1,067
平成25年度	3,723	2,664	23	1,036
平成26年度	3,601	2,593	16	992
平成27年度	3,435	2,460	18	957
平成28年度	3,286	2,350	20	916
平成29年度	3,113	2,198	20	895
平成30年度	2,978	2,088	22	868

●資料(健康推進課)

● こども園の入所状況 (令和2年1月1日現在)

(単位：人)

保育所名	入園児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
佐野こども園	254	18	29	33	62	57	55
三谷こども園	219	13	20	38	54	48	46
計	473	31	49	71	116	105	101

●資料(教育総務課)

● 国民年金・拠出年金の給付状況

(単位：千円)

区分 年度	老齢年金		老齢基礎年金		障害年金		障害基礎年金		遺族基礎年金		寡婦年金	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成30年度	271	108,078	6,052	4,078,393	19	16,755	309	266,933	6	3,505	5	2,337

●資料(健康推進課)



運 輸

● 自動車台数 (毎年4月1日現在)

(単位：台)

区分 年度	貨物車	乗用車	特殊自動車	大型特殊	軽貨物車	軽乗用車	小型二輪	原付自転車	小型特殊
平成24年度	883	5,380	261	75	4,168	4,633	420	2,755	218
平成25年度	868	5,280	253	70	4,074	4,745	441	2,655	209
平成26年度	857	5,188	244	63	3,981	4,964	455	2,564	209
平成27年度	838	5,076	246	60	3,905	5,200	470	2,452	202
平成28年度	817	4,971	242	59	3,834	5,203	459	2,357	194
平成29年度	800	4,904	243	58	3,821	5,177	453	2,229	196
平成30年度	785	4,897	259	66	3,775	5,149	444	2,131	201

●資料(税務課・紀北県税事務所)



生活の安全

● 救急業務の状況

(単位：件)

年次	総数	交通事故	一般負傷	急病	その他
平成25年	792	93	125	470	104
平成26年	813	67	151	481	114
平成27年	855	81	150	522	102
平成28年	919	74	187	531	127
平成29年	978	69	152	609	148
平成30年	992	81	152	630	129
令和元年	1025	85	160	678	102

●資料(伊都消防組合)

● 交通事故発生状況

年次	交通事故		
	発生件数	傷者	死者
平成24年	103	129	1
平成25年	108	144	1
平成26年	57	80	2
平成27年	55	84	1
平成28年	40	46	4
平成29年	39	43	2
平成30年	34	37	2

●資料(和歌山県警察本部)

● 消防施設等の状況 (令和元年12月末日現在)

区分	人員	消防車等						消火栓	防火水槽	プール 井戸
		消防車	ポンプ車	小型ポンプ	積載車	指令車	救急車	(150mm以上)	(40ℓ以上)	
伊都消防組合	59	3	3	1	1	1	2	—	—	—
かつらぎ町消防団	436	0	8	35	32	1	—	80	141	26

※消防車…救助工作車、搬送車、予防査察車

※ポンプ車…水槽付消防ポンプ自動車、ポンプ自動車、化学消防自動車

●資料(伊都消防組合、総務課)

● 火災発生及び被害の状況

年次	火災発生件数					焼損棟数	罹災世帯	死傷者		焼損面積 (㎡)	焼失面積 (a)	損害額 (千円)
	総数	建物	車両	林野	その他			死者	傷者			
平成25年	9	6	0	0	3	7	2	0	1	313.1	0	14,834
平成26年	6	2	1	0	3	2	0	0	0	247.64	0	4,886
平成27年	3	2	0	0	1	2	2	0	1	341.71	0	7,591
平成28年	7	4	1	0	2	4	1	0	1	235.6	0	8,919
平成29年	11	4	0	0	7	4	0	0	1	192.61	0	1,191
平成30年	8	8	0	0	0	11	6	0	2	2861.44	0	106,869
令和元年	8	3	0	1	4	7	1	1	1	53.8	30.4	1,065

●資料(伊都消防組合)



建設

● 道路の状況 (平成31年4月1日現在)

区分	路線数	延長(m)	舗装延長(m)	改良延長(m)	舗装率(%)	改良率(%)
国道	4	55,499	55,031	54,309	99.2	98.0
県道	10	62,778	58,872	40,830	93.8	65.0
町道	856	450,679	397,448	298,405	88.2	66.2
農道	453	198,830	180,322	181,820	90.7	91.4
林道	14	30,323	28,142	23,284	92.8	76.8

●資料(建設課)

● 橋梁の状況 (平成31年4月1日現在)

区分	橋梁数			延長(m)
	総数	永久橋	木橋	
国道	77	77	0	1,455
県道	26	26	0	606
町道	353	353	0	6,149
農道	6	6	0	398.6
林道	5	5	0	37
総数	465	465	0	8,477.5

※農道は15m以上の橋梁を対象。

●資料(建設課)



水道

● 水道給水の状況 (平成31年3月末日現在)

施設名	計画給水人口(A)	給水区域内人口(B)	給水戸数	給水人口(C)	普及率(C/B)
上水道	13,400人	12,404人	5,125戸	12,271人	98.93%
教良寺簡易水道	167	129	57	129	100.0
広口簡易水道	270	201	115	190	94.53
洪田簡易水道	2,290	1,645	623	1,631	99.15
見好東部簡易水道	1,170	854	276	854	100.0
御所簡易水道	200	187	60	187	100.0
天野簡易水道	350	280	118	280	100.0
新城簡易水道	160	120	66	120	100.0
梁瀬簡易水道	400	183	137	183	100.0
大久保飲料水供給施設	100	86	28	86	100.0
大畑飲料水供給施設	96	16	9	16	100.0
宮本飲料水供給施設	39	33	0	33	100.0

●資料(上下水道課)



産業

● 農家数の推移

(単位：戸)

	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家	計
平成7年	515	432	948	1,895
平成12年	460	307	683	1,450
平成17年	476	303	504	1,283
平成22年	477	241	454	1,172
平成27年	478	187	360	1,025

●資料(農業センサス)

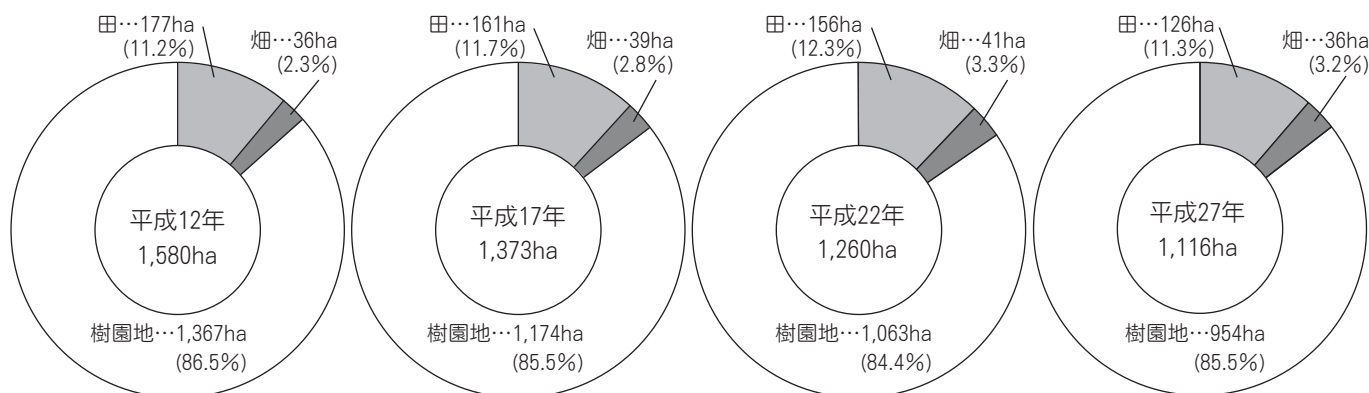
● 経営耕地規模別農家数

(単位：戸)

	総数	例外規定	0.3ha未満	0.3~0.5ha	0.5~1ha	1~1.5ha	1.5~2ha	2~2.5ha	2.5ha以上
平成2年	2,032	2	407	283	575	346	195	139	85
平成7年	1,895	2	381	280	516	328	191	119	78
平成12年	1,450	40	269	493	267	189	106	86	
平成17年	1,283	54	235	430	229	166	169		
平成22年	1,172	35	223	399	227	136	152		
平成27年	1,087	94	186	338	207	131	131		

●資料(農業センサス)

● 経営土地種類別面積

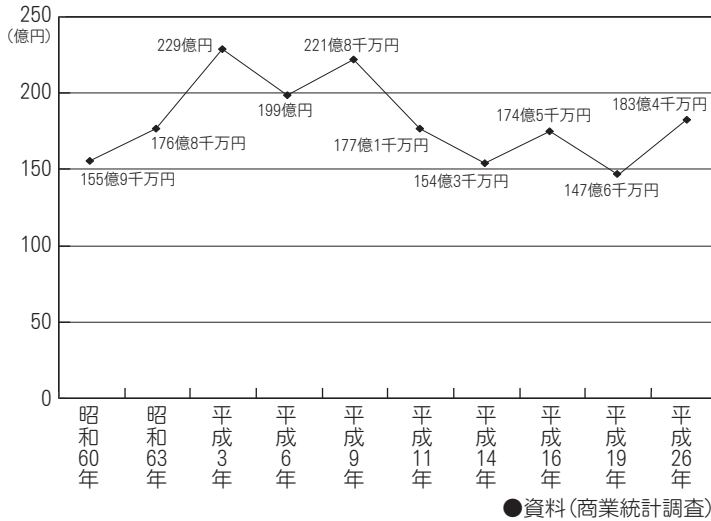


●資料(農業センサス)



産 業

● 年間販売額の推移



● 商業の状況 (平成26年商業統計)

区分	商店数	従業員数(人)	年間販売額(百万円)	
卸売業	25	157	7,437	
小売業	158	705	10,902	
内訳	着物衣服小売業	12	24	126
	飲食料品小売業	61	403	5,486
	自動車・自転車小売業	14	59	888
	その他小売業	71	219	4,402
合計	183	862	18,339	

●資料(商業統計調査)

● 工業の状況 (平成30年工業統計)

(単位: 総出荷額=万円)

区分	平成30年	
	事業所数	従業者数
食料	6	351
飲料・飼料	3	99
繊維	9	164
木材	2	36
家具	1	13
パルプ	1	194
印刷	1	10
化学	3	371
石油	—	—
プラスチック	—	—
ゴム製品	—	—
皮革	—	—
窯業	3	50
鉄鋼	—	—
非鉄	—	—
金属	4	132
はん用機械	—	—
生産用機械	—	—
業務用機械	—	—
電子・デバイス	—	—
電気機械	2	152
情報通信機械	—	—
輸送機械	1	6
その他	—	—
合計	36	1,578
総出荷額	4,947,635	

●資料(工業統計調査)

● 産業大分類別就業人口

(単位: 人)

産業別	平成22年			平成27年			
	計	男	女	計	男	女	
総数	8,858	4,890	3,968	8,565	4,618	3,947	
第一次産業	農業	2,182	1,158	1,024	2,005	1,063	942
	林業	22	20	2	19	17	2
	漁業	4	3	1	4	4	0
	計	2,208	1,181	1,027	2,028	1,084	944
第二次産業	鉱業	6	4	2	6	4	2
	建設業	556	475	81	482	408	74
	製造業	1,326	906	420	1,312	874	438
	計	1,888	1,385	503	1,800	1,286	514
第三次産業	卸売小売業	1,108	491	617	975	417	558
	金融保険業	129	42	87	114	30	84
	不動産業	35	25	10	56	39	17
	運輸通信業	419	355	64	383	337	46
	電気・ガス・水道業	47	38	9	40	34	6
	サービス業	2,612	1,068	1,544	2,675	1,067	1,608
	公務	412	305	107	370	259	111
計	4,762	2,324	2,438	4,613	2,183	2,430	
分類不能	63	31	32	124	65	59	

●資料(国勢調査)



教育

● 中学校の状況 (令和元年5月1日現在)

学校名	教職員数(人)	学級数	生徒数(人)		
			総数	男	女
笠田中学校	23	8	162	78	84
妙寺中学校	24	8	195	100	95
計	47	16	357	178	179

●資料(教育総務課)

● 小学校の状況 (令和元年5月1日現在)

学校名	教職員数(人)	学級数	児童数(人)		
			総数	男	女
笠田小学校	27	13	245	134	111
大谷小学校	19	8	65	30	35
妙寺小学校	28	15	309	151	158
洪田小学校	16	8	93	46	47
梁瀬小学校	7	3	5	3	2
計	97	47	717	364	353

●資料(教育総務課)

● 幼稚園の状況 (令和元年5月1日現在)

園名	教職員数(人)	学級数	園児数(人)		
			総数	男	女
花園幼稚園	3	1	2	1	1
聖心幼稚園(私立)	6	3	33	18	15
計	9	4	35	19	16

●資料(教育総務課)

● 指定文化財一覧 (令和元年12月末日現在)

◎国指定文化財

I.有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
宝来山神社本殿	4棟	昭和25.8.29	萩原	宝来山神社	桃山時代(慶長19年・1614)
丹生都比売神社楼門	1棟	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	室町時代(明応8年・1499)
丹生都比売神社本殿	4棟	昭和40.5.29	上天野	丹生都比売神社	第1殿=江戸時代(正徳5年・1715) 第2殿=室町時代(文明元年・1469) 第3殿=明治時代(明治34年・1901) 第4殿=室町時代(文明元年・1469)

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
〔彫〕銅造菩薩半跏像	1軀	昭和61.6.6	滝	極楽寺	飛鳥時代後期(白鳳時代)
〔彫〕木造狛犬	2対	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔彫〕木造狛犬	2対	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔工〕銀銅蛭巻太刀拵(国宝)	1口	昭和30.2.2	上天野	丹生都比売神社	平安時代後期
〔工〕兵庫鎖太刀	2口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕鍍金長覆輪太刀	1口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕鍍金長覆輪太刀	1口	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代後期
〔工〕金銅琵琶	1面	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代
〔工〕木造鍍金装神輿	2基	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	室町時代
〔書〕紙本墨書法華經	8帖	昭和25.8.29	上天野	丹生都比売神社	法華經=平安時代後期 寄進状=南北朝時代 (正平5年・1350)
〔書〕紙本墨書後村上 天皇宸翰寄進状	1卷				
〔文〕紀伊国栴田庄絵図	1幅	昭和50.6.12	萩原	宝来山神社	鎌倉時代
〔歴〕高野枿	1口	昭和56.6.9	柏木	柏木区	室町時代(応永3年・1396)

II.民俗文化財

(1) 重要無形民俗文化財

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
花園の御田舞	1件	昭和56.1.21	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	

III.記念物

(1) 史跡

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
高野参詣道 町石道 三谷坂	10km	昭和52.7.14 平成27.10.7	三谷・山崎・教良寺・上天野・神田	かつらぎ町	平安時代
丹生都比売神社境内	1所	平成14.12.19	上天野	丹生都比売神社・かつらぎ町	

◎県指定文化財

I.有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
宝来山神社末社東殿・西殿	2棟	昭和46.3.22	萩原	宝来山神社	江戸時代中期
神願寺本堂	1棟	平成11.7.9	萩原	神願寺	江戸時代(文政13年・1830)
石造五輪塔	1基	昭和46.7.13	平	大久保町内会	南北朝時代(永徳4年・1384)
薬師寺薬師堂厨子	1基	昭和40.9.20	御所	御所地区文化財顕彰保護委員会	南北朝時代
石造五輪卒塔婆群	4基	昭和40.4.14	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代～南北朝時代
石造宝篋印塔	2基	昭和46.7.13	上天野	丹羽 真理子	南北朝時代
南垣内地蔵堂	1棟	平成19.6.12	花園北寺	花園北寺区	桃山時代(天正17年・1589)

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
〔彫〕木造阿弥陀如来坐像	1軀	昭和46.7.13	笠田中	無量寺	平安時代後期
〔彫〕木造薬師如来坐像	1軀	昭和40.9.20	御所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
〔彫〕木造菩薩坐像	1軀	昭和40.9.20	御所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
〔彫〕木造地藏菩薩立像	1軀	昭和40.9.20	御所	御所地区文化財顕彰保護委員会	平安時代中期
〔彫〕木造神像群	10軀	平成28.3.15	三谷		平安時代～南北朝時代

(工)妙見神社の梵鐘	1口	昭和40.4.14	滝	北辰妙見神社	鎌倉時代(文永2年・1265)
(工)楽太鼓縁(鉦鼓縁)	1対	昭和40.4.14	上天野	丹生都比売神社	室町時代
(工)鼓胴	3個	昭和40.4.14	上天野	丹生都比売神社	鎌倉時代～南北朝時代
(工)瑞華双鸞八稜鏡	1面	昭和40.4.14	上天野	丹生都比売神社	平安時代後期
(書)後伏見院願文	1巻	昭和38.3.26	妙寺	松林延忠	鎌倉時代(嘉元3年・1305)
(典)大般若経	569帖	昭和44.7.14	滝	北辰妙見神社	鎌倉時代～江戸時代

II. 民俗文化財

(1) 無形民俗文化財

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
天野の御田祭	1件	昭和56.7.13	上天野	天野の御田祭保存会	
六斎念仏	1件	昭和34.8.18	下天野	六斎念仏講	
花園の仏の舞	1件	昭和40.4.14	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	国選択=昭和51.12.25
たい松押し	1件	平成11.7.9	花園梁瀬	花園郷土古典芸能保存会	

III. 記念物

(1) 史跡

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
中世農耕用水路跡文覚井	1所	昭和47.4.13	萩原・笠田中・笠田東	かつらぎ町・文覚井水利組合	鎌倉時代～室町時代
三谷坂	1所	平成23.3.15	三谷	かつらぎ町・三谷自治区	平安時代
佐野寺跡	772.65㎡	平成28.3.15	佐野	かつらぎ町	飛鳥時代後期

(2) 天然記念物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
十五社の樟樹	573.16㎡	昭和33.4.1、平成29.3.17	笠田東	妙楽寺薬師講・かつらぎ町	
さざんかの老樹	1本	昭和34.1.8	東谷	堀越齋観音	

◎町指定文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
畑谷池興山上人五輪塔	1基	平成14.3.30	妙寺	畑谷池水利組合	桃山時代(天正17年・1589)
検校雅真五輪塔	1基	平成15.3.31	東洪田	東洪田自治区	鎌倉時代後期～南北朝時代
池之窪阿弥陀堂	1棟	平成9.2.24	花園池之窪	池之窪町内会	平安時代後期
北寺観音堂	1棟	平成9.2.24	花園北寺	花園北寺区	
峯手赤滝高堂寺	1棟	平成9.2.24	花園梁瀬	峯手町内会	江戸時代(寛政元年・1789年)

(2) 美術工芸品

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
(絵)大絵馬	6面	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	4面=明和8年 1面=享保19年 1面=未詳
(彫)木造薬師如来坐像 (彫)木造大日如来坐像 (彫)木造阿弥陀如来坐像	3軀	平成14.3.30	妙寺	遍照寺	(薬師如来=文禄5年・1596) 桃山時代(大日如来=文禄4年・1595) (阿弥陀如来=天正18年・1590)
(彫)木造薬師如来坐像	1軀	平成13.3.30	教良寺	阿弥陀寺	平安時代後期
(彫)石造地藏菩薩立像	1軀	平成15.3.31	島	地藏寺	室町時代(永禄4年・1561)
(彫)面類	6面	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	室町時代～江戸時代
(彫)木造二天立像	1軀	平成21.7.31	下天野	延命寺	平安時代後期
(彫)木造大日如来坐像	1軀	平成22.4.30	新城	新城自治区	平安時代後期
(工)箏	1面	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	江戸時代(延宝2年・1674)
(工)太鼓	1口	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	江戸時代(寛文3年・1663)
(工)太刀	2口	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	室町時代(永正17年・1520)
(工)太刀	2口	平成16.3.31	上天野	丹生都比売神社	室町時代(享禄2年・1529)
(文)短野区文書	1382点	平成23.4.28	短野	短野自治区	鎌倉～昭和時代(文永10年・1273～昭和25年・1950)
(文)中南文書	6帖3巻1冊	平成31.3.26	花園中南	中南町内会	平安～江戸時代(承平7年・937～万治4年・1661)
(文)遍照寺旧本堂棟札	1枚	平成14.3.30	妙寺	遍照寺	桃山時代(天正15年・1587)
(書)大般若経	591帖	平成26.4.24	三谷	龍谷寺・県立博物館	奈良時代～江戸時代
(書)大般若経	582帖	平成26.5.28	短野	短野自治区	鎌倉時代～江戸時代

II. 民俗文化財

(1) 無形民俗文化財

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
中南のおこない	1件	平成8.1.5	花園中南	中南町内会	

◎登録文化財

I. 有形文化財

(1) 建造物

指定名称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	年代
初桜酒造主屋・仕込蔵・囲蔵	3棟	平成18.8.3	中飯降	笠勝清人	大正初期・明治初期・明治後期
小田井灌漑用水路中谷川水門	1基	平成18.3.2	中飯降	小田井土地改良区	明治時代(明治45年・1912)
小田井灌漑用水路小庭谷川渡井	1基	平成18.3.2	笠田東	小田井土地改良区	明治時代(明治42年・1909)
小田井灌漑用水路龍之渡井	1基	平成18.3.2	高田	小田井土地改良区	大正時代(大正8年・1919)
的場家住宅主屋・離れ・土蔵	3棟	令和元.12.5	東谷	的場孝至	江戸時代・大正後期・昭和31年
豊原家住宅主屋・離座敷	2棟	令和元.12.5	滝	豊原善弘	江戸後期・昭和前期
神野阿弥陀堂	1棟	令和元.12.5	東谷	東谷町内会	江戸時代(貞亨3年・1686)

注) 1. 美術工芸品のうち、(絵)は絵画、(彫)は彫刻、(工)は工芸品、(書)は書跡、(典)は典籍、(文)は古文書、(歴)は歴史資料を示す。

2. 指定年月日が「昭和25.8.29」の文化財は、明治30年(1897)制定の「古社寺保存法」及び、昭和4年(1929)制定の「国宝保存法」によって国宝に指定されていたものである(旧国宝)。

◎埋蔵文化財包蔵地

1. 中飯降城跡
2. 妙寺墳墓
3. 大藪経塚
4. 佐野寺跡
5. 移遺跡
6. 船岡山遺跡
7. 東洪田遺跡
8. 笠田東墳墓
9. 笠田東遺跡
10. 佐野遺跡
11. 萩原I遺跡
12. 西洪田1号墳
13. 丹生都比売神社境内遺跡
14. 中飯降遺跡
15. 大谷遺跡
16. 丁ノ町遺跡
17. 萩原II遺跡
18. 西飯降遺跡
19. 妙寺遺跡
20. 背山城跡
22. 窪山城跡
23. 草田山城跡
24. 皮張東城跡
25. 皮張西城跡
26. 西飯降II遺跡
27. 丁ノ町・妙寺遺跡
28. 窪・萩原遺跡
29. 西洪田遺跡
30. 加陀寺前経塚(21は欠番)



年表(旧花園村)

年 代	事 項	年 代	事 項
1889年 (明治22年)	4月 町村制の施行により花園村が誕生する。	5月	過疎高齢者生活福祉センター (保健福祉館) が完成する。
1953年 (昭和28年)	7月 紀州大水害で役場が流失する。 行政資料流失により、以前の記録不明。	12月	第二期花園村長期総合計画を策定する。
1957年 (昭和32年)	9月 花園中学校新子分校を花園中学校に統合する。	1992年 (平成4年)	3月 林道サガシ谷線が開通する。 公営住宅清滝団地(9戸)が完成する。
1959年 (昭和34年)	1月 梁瀬大橋が完成する。	4月	花園村紀の国新王子が完成する。
1962年 (昭和37年)	6月 梁瀬小学校が建て替えられる。 10月 敷地地区簡易水道が完成する。	7月	小原洞窟恐竜ランドが完成する。
1963年 (昭和38年)	3月 中南林道が開通し、村内縦貫道路網が実現する。	8月	ゴミ焼却施設を新設する。
1964年 (昭和39年)	4月 花園小学校を梁瀬小学校に統合する。 村民総合運動場を開設する。 花園村立花園幼稚園を開園する。	1993年 (平成5年)	3月 第一期老人保健福祉計画を策定する。 梁瀬小学校プールを新設する。 公営住宅花園団地(4戸)が完成する。
1968年 (昭和43年)	3月 梁瀬児童館が完成する。	4月	県道有田高野線が国道480号に昇格する。
1970年 (昭和45年)	3月 生活改善センターが完成する。	7月	昭和28年紀州大水害40周年記念碑を建立する。
1971年 (昭和46年)	3月 村道花園長谷線が開通する。	10月	天然ダム水位標を設置する。
1972年 (昭和47年)	3月 林構林道三路線が開通する。 5月 水泳プール二面 (梁瀬小学校・有畝小学校) を新設する。	1994年 (平成6年)	3月 ビデオ水害史「よみがえった郷土」を作成する。
1973年 (昭和48年)	7月 新子ふるさと村を開設する。	1995年 (平成7年)	3月 軽企業誘致施設が完成する。 北寺キャンプ場が完成する。 広葉樹林造成が完成する。
1974年 (昭和49年)	5月 複合集会施設ふるさとセンター「ねむの木」が完成する。	7月	恐竜館が完成する。
1975年 (昭和50年)	3月 花園幼稚園を新築する。 4月 県道橋本高野龍神線が国道371号に昇格する。	1996年 (平成8年)	3月 資源活用型林業構造改善事業(平成5～7年度)が完了する。 公営住宅北寺団地(12戸)が完成する。
1976年 (昭和51年)	5月 老人憩いの家「紫翠荘」が完成する。 11月 村道花園長谷線の舗装が完成する。	1997年 (平成9年)	3月 花園村保健センターが完成する。 4月 林道湯川有中線が開通する。 12月 南垣内集会所を新築する。
1977年 (昭和52年)	3月 花園守口ふるさと村を開設する。	1998年 (平成10年)	3月 公営住宅臼谷団地(4戸)が完成する。 5月 北寺集会所を新築する。
1979年 (昭和54年)	3月 公営住宅花園団地(9戸)が完成する。	2000年 (平成12年)	3月 山村振興等農林漁業特別対策事業(平成8～11年度)が完了する (広場緑地等利用施設・給水施設・駐車場・交流促進センター)。 4月 村道花園長谷線が県道花園美里線(115号線)に昇格する。 林道臼谷有中線が開通する。
1980年 (昭和55年)	3月 県道有田高野線北寺隧道が開通する。 4月 特定分収契約設定促進特別事業を実施する。 7月 高野龍神スカイラインが開通する。	12月	池之窪集会所が完成する。
1981年 (昭和56年)	4月 花園中学校有畝分校を花園中学校に統合する。 5月 大阪府守口市と姉妹提携を締結する。 農林漁業者保養センターが完成する。	2001年 (平成13年)	3月 奥高野道しるべが完成する。 林業地域総合整備事業(平成8～12年度)が完了する (臼谷有中線開通)。 12月 中南消防屯所が完成する。
1982年 (昭和57年)	4月 高野龍神スカイライン花園村生産物直売所が完成する。 6月 水害史『よみがえった郷土』を刊行する。	2002年 (平成14年)	3月 中南森林公園が完成する。 12月 新子消防屯所が完成する。
1984年 (昭和59年)	4月 林道瀬の谷線が完成する。 11月 郷土古典芸能仏の舞を奉納する(61年目)。	2003年 (平成15年)	3月 地域林業経営集約化型林業構造改善事業(平成12～14年度)が完了する。 地域文化振興施設(図書館)を新築する。 12月 中越集会所を新築する。 臼谷集会所を新築する。
1985年 (昭和60年)	4月 林道高野谷線・沼谷線が開通する。	2004年 (平成16年)	12月 峯手中越飲料水供給施設を整備する。 南垣内飲料水供給施設を整備する。
1987年 (昭和62年)	7月 金剛寺緑地広場が完成する。	2005年 (平成17年)	3月 県道115号線花園美里トンネルが開通する。 4月 コミュニティバスの運行が始まる。 9月 『花園村のあゆみ』を刊行する。 閉村式を行う。
1988年 (昭和63年)	4月 花園中学校を新築する。 12月 大壁画「山に描く花園の夢」が完成する。	10月	かつらぎ町と合併する。
1989年 (平成元年)	4月 村制施行100周年を迎える。 7月 野営場等林間休養施設を開設する。		
1990年 (平成2年)	4月 お迎えの庭が完成する。 5月 ふれあいゲートボール場が完成する。 7月 水害記念館が完成する。 金剛寺緑地広場たる村が完成する。 11月 花園村社会福祉協議会が社会福祉法人となる。		
1991年 (平成3年)	3月 有畝小学校が廃校となる。		



年 表

年 代	事 項	年 代	事 項
646年 (大化2年)	大化改新の詔に「紀伊の兄山(背山)」が畿内国の南限と定められる。		
673~679年 (天武元年~7年)	狭屋寺(佐野寺跡)が建立される。		
690年 (持統4年)	阿閉皇女が紀伊国に旅する途次、背山を歌に詠む。		
734年 (天平6年)	平城宮跡出土の木簡に「紀伊国伊都郡指理(飯降)郷」という郷名がみえる。		
811年 (弘仁2年)	萩原の駅家が廃止される。		
816年 (弘仁7年)	太政官符により空海が嵯峨天皇から高野山を与えられる。		
1049年 (永承4年)	官省符荘上方が成立する。		
1063年 (康平6年)	官省符荘下方が成立する。		
1146年 (久安2年)	渋田荘が成立する。また、この年までに六箇七郷が成立する。		
1147年 (久安3年)	仁和寺第4代門跡覚法法親王が初めて三谷坂を通過して高野山に籠る。		
1183年 (寿永2年)	笠田荘が神護寺領となる。		
1585年 (天正13年)	秀吉の紀州攻めにより、高野山は秀吉に帰順し、旧領は安堵され、押領地は没収される。		
1591年 (天正19年)	町域のすべてに太閤検地が実施される。この年と翌年に町域の河南部の大部分が高野山寺領として認められる。		
1600年 (慶長5年)	浅野幸長が和歌山に封ぜられる。		
1601年 (慶長6年)	浅野幸長が町域の河北部に慶長検地を実施する。		
1619年 (元和5年)	浅野氏が広島に移封され、代わって徳川頼宣が封ぜられる。		
1707年 (宝永4年)	吉宗の命により大畑才蔵が小田井を開削する。		
1776年 (安永5年)	高野山寺領に百姓一揆がおこる。		
1823年 (文政6年)	紀州藩領に百姓一揆がおこる。		
1863年 (文久3年)	8月 天誅組の変に町域住民も徴発される。		
1865年 (慶応元年)	5月 長州征討に町域住民も徴発される。		
1868年 (明治元年)	9月 明治と改元し、一世一元の制を定める。		
1869年 (明治2年)	2月 藩領の伊都代官所を伊都民政局、代官を知局事とし、組役所を郷役所、大庄屋を郷長とする。		
	8月 高野山寺領が堺県の管轄となる。		
1870年 (明治3年)	4月 堺県管轄の旧寺領が五条県の管轄となる。		
1871年 (明治4年)	1月 藩領の伊都民政局が伊都出庁となる。		
	6月 戸籍区が設置され、藩領の旧丁ノ町組が第78区となる。		
	7月 「廃藩置県」によって、和歌山藩は和歌山県となる。		
	11月 「改置府県」によって、五条県管轄の旧寺領が和歌山県となる。		
	12月 伊都出庁が伊都出張所となる。		
1872年 (明治5年)	3月 伊都出張所が粉河村に移転し、那賀出張所と改称される。		
	4月 郷長が戸長に、庄屋が副戸長となる。		
	6月 大区小区制が設置され、町域は第4大区1小区・5小区・6小区となる。		
1873年 (明治6年)	3月 小区の戸長を副区長、村の副戸長		
	を戸長とする。		
	7月 地租改正条例を公布する。		
1874年 (明治7年)	3月 丹生都比売神社の大庵室を仮校舎として第一村舎を設置する(天野小学校の始まり)。		
1875年 (明治8年)	4月 東村の妙楽寺を仮校舎として明倫小学校を設置する(笠田小学校の始まり)。		
	5月 妙寺村の遍照寺を仮校舎として明智小学校を設置する(妙寺小学校の始まり)。		
1876年 (明治9年)	3月 島村の地藏寺を仮校舎として志磨小学校を設置する(渋田小学校の始まり)。		
	4月 三谷村の丹生酒殿神社の一部を仮校舎として臨降小学校を設置する(三谷小学校の始まり)。		
	4月 志賀村の大隆寺を仮校舎として志賀小学校を設置する。		
	滝村の極楽寺を仮校舎として滝小学校を設置する。		
	天野小学校を下天野村に移転し、常磐小学校と改称する。		
	丁ノ町村の和田寺を仮校舎として盛陽小学校を設置する(丁ノ町小学校の始まり)。		
	大畑村の勝楽寺を仮校舎として松上小学校を設置する(大畑小学校の始まり)。		
	短野村の観音寺を仮校舎として短野小学校を設置する。		
	大谷村の民家を仮校舎として大明小学校を設置する(大谷小学校の始まり)。		
	5月 柏木村の宝蔵寺を仮校舎として拡智小学校を設置する(柏木小学校の始まり)。		
	9月 星川村の旧寺院を仮校舎として松沢小学校を設置する(四邑小学校の始まり)。		
	12月 平村の福徳寺の下に校舎を建て平小学校を設置する。		
1877年 (明治10年)	3月 新城村の正覚寺を仮校舎として新城小学校を設置する。		
	4月 広口村の法福寺を仮校舎として広口小学校を設置する。		
1878年 (明治11年)	6月 東洪田村の釈迦寺を仮校舎として東洪田小学校を設置する。		
1879年 (明治12年)	1月 郡区町村編制法によって、郡に郡長、村に戸長を置く。		
	地方税規則によって、区町村協議費(地価割・戸数割)が創設される。		
	2月 伊都郡役所が妙寺村に設置される。		
1882年 (明治15年)	4月 平村下津川の西福寺を仮校舎として下津川小学校を設置する。		
	大谷小学校を新築し、移転する。		
1885年 (明治18年)	3月 常磐小学校を天野小学校と改称し、		

年 代	事 項	年 代	事 項
1886年 (明治19年)	4月 志賀・新城・上番・湯川・花坂を分校とする。	1918年 (大正7年)	12月 学校と合併し、柏木分教場となる。
1888年 (明治21年)	4月 志磨小学校と東洪田小学校が合併し、洪田小学校と改称する。	1920年 (大正9年)	6月 丁ノ町尋常小学校を妙寺尋常高等小学校に合併する。
1889年 (明治22年)	4月 佐野村の開智小学校と東村の東小学校が合併し、笠田尋常小学校と改称する。	1922年 (大正11年)	12月 笠田村が町制を施行する。
1890年 (明治23年)	10月 市制町村制の施行に伴い、町域は笠田村、四郷村、大谷村、妙寺村、見好村、天野村の六か村となる。	1923年 (大正12年)	4月 妙寺尋常高等小学校の講堂を新築する。
1896年 (明治29年)	8月 第1回村会議員の選挙を執行する。	1923年 (大正12年)	4月 郡制が廃止される。
1897年 (明治30年)	9月 伊都郡役所が橋本村大字橋本に移転する。	1926年 (大正15年)	4月 7月 大谷村隔離病舎を設置する。
1898年 (明治31年)	1月 丁ノ町尋常小学校を新築し移転する。	1926年 (大正15年)	4月 大谷尋常高等小学校柏木分教場を廃止する。
	郡制が施行される。		7月 郡長・郡役所が廃止される。
	高田、窪、移、東、佐野の一部にあった分教場を閉鎖して、笠田尋常高等小学校に統合する。	1927年 (昭和2年)	4月 笠田町立笠田高等家政女学校を笠田東に設置する。
	6月 天野尋常小学校を増築し高等科を併置、天野尋常高等小学校と改称する。		笠田町役場庁舎が完成する。
1899年 (明治32年)	4月 三谷尋常小学校に高等科を併置、三谷尋常高等小学校と改称する。	1929年 (昭和4年)	9月 四郷村役場を新庁舎に移転する。
1900年 (明治33年)	5月 妙寺尋常小学校を新築し高等科を併置、妙寺尋常高等小学校と改称する。	1934年 (昭和9年)	11月 三谷尋常高等小学校が現在地に校舎を新築し移転する。
	11月 妙寺村役場を妙寺高等小学校跡に移転する。	1935年 (昭和10年)	3月 笠田尋常高等小学校背ノ山分教場を廃止する。
	11月 紀和鉄道が全通し、笠田駅・妙寺駅が開業する。	1936年 (昭和11年)	11月 天野村診療所を開設する。
1902年 (明治35年)	3月 天野尋常高等小学校の高等科を廃止する。	1937年 (昭和12年)	6月 四郷村診療所を開設する。
	10月 志賀尋常小学校を大隆寺敷地に新築し移転する。	1938年 (昭和13年)	12月 天野村役場が中志賀の新庁舎に移転する。
	10月 新城尋常小学校を新築し移転する。	1940年 (昭和15年)	2月 笠田町立笠田高等家政女学校が県に移管される。
1904年 (明治37年)	6月 四郷村隔離病舎を設置する。	1941年 (昭和16年)	2月 各町村に部落会、町内会が発足する。
	6月 笠田女子補習学校を開設する。		4月 小学校を国民学校と改称する。
	6月 笠田尋常高等小学校背ノ山分教場を設置する。	1942年 (昭和17年)	3月 県立笠田高等家政女学校を県立笠田高等女学校と改称する。
1906年 (明治39年)	4月 洪田農業補習学校を開設する。	1943年 (昭和18年)	4月 伊都西部青年学校が大谷に開設される。
	5月 丁ノ町農業補習学校を開設する。	1945年 (昭和20年)	8月 ポツダム宣言を受諾する。
	8月 新城農業補習学校を開設する。	1946年 (昭和21年)	10月 各町村が選挙管理委員会を設置する。
	9月 三谷実業補習学校を開設する。		12月 各町村に農地委員会が設置され、農地改革が始まる。
1909年 (明治42年)	4月 見好村隔離病舎を東洪田に設置する。		各町村に民生委員会が設置され、社会福祉行政の充実をはかる。
	4月 短野、大畑尋常小学校を妙寺尋常高等小学校に合併、畑野分教場を設置する。	1947年 (昭和22年)	4月 初めて知事、市町村長の公選を実施する。
	5月 妙寺実業補習学校を開設する。		小学校及び中学校が発足する。
	5月 大谷農業補習学校を開設する。	1948年 (昭和23年)	3月 洪田小学校星川分校が四邑小学校として独立する。
	9月 広口、下津川尋常小学校が合併して広口に校舎を新築し移転する。		妙寺小学校丁ノ町分校が再発足する。
1910年 (明治43年)	9月 妙寺村が町制を施行する。	1948年 (昭和23年)	3月 妙寺町自治体警察が発足し、妙寺町公安委員会を設置する。
1911年 (明治44年)	4月 東谷、滝尋常小学校が広口尋常小学校と合併、高等科を併設して四郷尋常高等小学校と改称する。		4月 学制改革によって、県立笠田高等学校が創立される。
1912年 (明治45年)	4月 星川尋常小学校が洪田尋常高等小学校と合併し、星川分教場となる。	1949年 (昭和24年)	12月 妙寺町健康保険組合を設置する。
1913年 (大正2年)	11月 四郷農業補習学校を開設する。	1950年 (昭和25年)	11月 妙寺中学校の新校舎が完成する。
1916年 (大正5年)	3月 妙寺女子補習学校を開設する。	1951年 (昭和26年)	1月 妙寺町・大谷村学校組合立妙寺中学校が発足する。
	3月 柏木尋常小学校が大谷尋常高等小		3月 四郷村公民館を開設する。
			4月 妙寺町外五か町村伝染病隔離病舎一部事務組合を設立し、隔離病舎を紀北病院に併設する
			妙寺町立妙寺保育所を開設する。
			10月 妙寺町自治体警察を廃止する。
		1952年 (昭和27年)	1月 妙寺母子寮を開設する。
			10月 大谷駅、西笠田駅が開業する。
			11月 各町村に教育委員会が設置される。

年 代	事 項	年 代	事 項	
1953年（昭和28年）	12月	1967年（昭和42年）	中飯降簡易水道工事が完成する。災害公営住宅3戸を新田に初めて建設する。	
	1月		8月	中飯降簡易水道、笠田上水道をあわせ、かつらぎ町上水道として発足する。
	3月		自治区制が出そろふ。	
	4月		和歌山県立農業センター（現、農業大学校）が中飯降に設置される。	
1954年（昭和29年）	4月	3月	かつらぎ公園が完成する。	
	4月	4月	県立紀の川高等学校が新田に設置される。	
	9月	4月	妙寺小学校の新校舎が完成する。	
	10月	10月	3代目町長に中谷政夫氏が当選する。	
1955年（昭和30年）	11月	11月	住民基本台帳法が施行される（戸籍公開の制限）。	
	2月	1968年（昭和43年）	1月	和泉葛城山系、船岡山、宝来山神社、高野山町石道、玉川峡がかつらぎ高野山系県立自然公園に指定される。
	3月		4月	県立紀の川高等学校に通信制課程が設置される。
	4月		10月	議員定数減少条例を公布する（定数26人）。
8月	7月		同和対策事業特別措置法が施行される。	
1956年（昭和31年）	9月	1969年（昭和44年）	7月	同和対策事業特別措置法が施行される。
	7月		3月	笠田小学校の新校舎が完成する。
	12月		6月	かつらぎ町基本構想を策定する。
	12月		7月	平和祈念像が完成する。
1957年（昭和32年）	3月	1970年（昭和45年）	3月	四郷小学校東谷分校が統合のため廃止される。
	6月		6月	母子保健センターが完成する。
	7月		7月	かつらぎ町水道事業所が発足する。
	8月		10月	第26回黒潮国体の軟式庭球競技が本町で行われる。
1958年（昭和33年）	7月	1971年（昭和46年）	1月	四郷保育所が完成する。
	8月		3月	中飯降保育所が完成する。
	12月		3月	大門口大橋が完成する。
	12月		4月	四郷小学校の新校舎が完成する。
1959年（昭和34年）	12月	1972年（昭和47年）	4月	三谷公民館が完成する。
	1月		6月	老人憩の家が萩原に完成する。
	3月		町同和方針作成審議会を設置する。	
	4月		町同和委員会を設置する。	
1960年（昭和35年）	3月	1973年（昭和48年）	6月	清掃工場が大畑に完成する。
	4月		1月	福祉医療施策として70歳以上の住民を対象に老人医療無料化制度 [㊦] が発足する。
	5月		2月	町議会新議場が完成する。
	5月		4月	四邑保育所が完成する。
1961年（昭和36年）	4月	1974年（昭和49年）	4月	四邑公民館が完成する。
	4月		4月	広口簡易水道が給水を開始する。
	4月		4月	かつらぎ町社会福祉協議会が社会福祉法人となる。
	4月		12月	同和対策事業5か年計画が策定される。
1962年（昭和37年）	4月	1975年（昭和50年）	5月	佐野住民会館が完成する。
	6月		6月	町同和方針作成審議会から、同和方針が答申される。
	6月		6月	中部保育所が完成する。
	7月		10月	4代目町長に木村重雄氏が当選する。
1964年（昭和39年）	7月	1965年（昭和40年）	12月	同和啓発推進本部を設置し、同和啓発推進協議会が町内全域に設置される。
	3月		3月	同和啓発推進本部を設置し、同和啓発推進協議会が町内全域に設置される。
	4月		4月	同上水道第一次拡張工事が完成し、

年 代	事 項	年 代	事 項
1976年（昭和51年）	1月 2歳～67歳の住民（身障手帳1～2級等）を対象に重身医療費 [◎] 無料制度が発足する。		
	4月 中飯降住民会館が完成する。		
1977年（昭和52年）	5月 笠田東町民会館が完成する。		
1978年（昭和53年）	5月 平沼田中央会館が完成する。 妙寺公民館が完成する。 不燃物中間処理場が完成する。		
	6月 議員定数減少条例を公布する（定数22人）。		
	11月 かつらぎ町発足20周年記念式典が挙行される。		
	12月 桃の木団地が東洪田に完成する。		
1979年（昭和54年）	3月 見好公民館が完成する。 組合立母子寮が完成する（九度山町）。		
	4月 勤労者体育センターが完成する。 丁ノ町会館が完成する。		
	5月 中飯降保育所が完成する。		
	10月 伊都消防組合が発足する（かつらぎ町・高野口町・九度山町）。		
1980年（昭和55年）	5月 洪田簡易水道が給水を開始する。		
	8月 坊秀男氏にかつらぎ町名誉町民の称号を贈る。		
1981年（昭和56年）	5月 天野保育所が完成する。		
	8月 妙寺中学校の新校舎が完成する。		
1982年（昭和57年）	1月 大谷会館が完成する。 河南公園グラウンドが完成する。 中飯降児童館が完成する。		
	4月 地域改善対策特別措置法が施行される。		
	5月 水道事業所新庁舎が佐野に完成する。 滝郷土文化保存伝習施設が完成する。		
	6月 上水道第3次拡張工事が完成する。		
	12月 かつらぎ霊園・斎場が完成する。		
1983年（昭和58年）	3月 大谷公民館が完成する。		
	6月 中飯降公園グラウンドが完成する。		
	9月 『かつらぎ町史』古代・中世史料編を刊行する。		
	10月 5代目町長に溝端康雄氏が当選する。		
1984年（昭和59年）	5月 志賀小学校の新校舎が完成する。		
1986年（昭和61年）	6月 第2次かつらぎ町長期総合計画基本構想を策定する。		
1987年（昭和62年）	4月 県立紀北農芸高等学校が妙寺に設置される。		
	8月 町の花「あじさい」、町の木「きんもくせい」を選定する。		
1988年（昭和63年）	6月 大阪府和泉市と友好都市提携をする。		
	7月 かつらぎ町発足30周年記念式典が挙行される。 『かつらぎ町史』近世史料編を刊行する。		
1989年（平成元年）	4月 町立妙寺保育所の管理、運営を民間に委託する。 伊都農業共済組合が発足する。 地籍調査事業に着手する。		
	10月 デイ・サービス事業を開始する。		
1990年（平成2年）	4月 第1回産業まつりが開催される。		
	6月 第2次かつらぎ町長期総合計画基本計画を策定する。 議員定数減少条例を公布する（定		
			数20人）。
		1991年（平成3年）	8月 名誉町民・坊秀男氏が逝去される。
			3月 大谷小学校の新校舎が完成する。
			12月 地方自治法の改正で地縁団体の法人化が認められ、第1号として東洪田の中村町内会が認可される。
		1992年（平成4年）	5月 移動図書館「ふれあい号」が町内を巡回する。
			12月 タイムカプセルを庁舎前庭に埋設する。
		1993年（平成5年）	3月 ゆうゆうコミュニティホーム（妙寺）、東洪田軽スポーツセンターが完成する。
			4月 紀の川地区広域営農団地農道が全線開通する。
			4月 県道泉大津粉河線、那賀高野線が国道480号に昇格し、国道370号も延伸される。
			6月 かつらぎ公園河川グラウンドが完成する。
			9月 かつらぎ総合文化会館（あじさいホール）が完成する。
		1994年（平成6年）	4月 地域福祉センターが完成する。 天野小学校の新校舎が完成する。
			10月 中国菜西市と友好都市提携をする。
		1995年（平成7年）	1月 阪神淡路大震災が発生する。
			3月 『かつらぎ町史』近代史料編を刊行する。
			10月 6代目町長に南衛氏が当選する。
			11月 道の駅「紀の川万葉の里」が完成する。
		1996年（平成8年）	1月 シイタケ菌床培養センターが完成する。
			10月 和泉葛城山系が金剛生駒紀泉国定公園に編入される。
			11月 第7回全国ひらかな市町村サミットが本町で開催される。
		1997年（平成9年）	2月 あんぽ柿加工処理施設が完成する。
			3月 かつらぎ町防災センターが完成する。 都市と農村の交流施設「柿の茶屋」が完成する。
		1998年（平成10年）	2月 庁舎本館改修工事が完成する。
			3月 川上酒かつらぎ文化伝承館が完成する。 第1回あじさい文化芸能祭が開催される。
			4月 紀の川流域下水道伊都浄化センターの建設が始まる。
			7月 不燃性ゴミの分別収集が始まる。
			8月 新規作物地域ブランド定着施設が完成する。
			9月 台風7号により災害が発生する。
			10月 かつらぎ町発足40周年記念式典・かつらぎ町公共施設合同竣工式典が挙行される。
		1999年（平成11年）	3月 四岳小学校の新校舎が完成する。 志賀ふれあい会館が完成する。
			6月 第1回ホテルまつりが開催される。
			11月 第22回西日本オリエンテーリング大会inかつらぎが開催される。

年 代	事 項	年 代	事 項
2000年（平成12年）	4月 道の駅に食材供給施設・いこいの広場が完成する。	2008年（平成20年）	11月 会が設立される。 かつらぎ町発足50周年記念式典が 挙行される。
2001年（平成13年）	2月 保健福祉センターが完成する。 見好東部地区営農飲雑用水施設が 完成する。		町のイメージキャラクターが決定 される。
	3月 上平沼田簡易水道施設が完成する。	12月	県道と歌山橋本線（兄井～山崎区 間）が開通する。
	4月 かつらぎ町シルバー人材センター が設立される。	2009年（平成21年）	8月 橋本周辺広域ごみ処理場が稼働する。
	紀の川流域下水道伊都浄化センタ ーの一部供用が開始される。	2010年（平成22年）	3月 花園中学校が統合のため廃止される。 4月 スクールバスの運行が開始される。 6月 議員の定数を定める条例を公布す る（定数14人）。
	高野山町石道・丹生都比売神社境 内が世界遺産暫定リストに登録さ れる。	9月	和歌山県立医科大学附属病院紀北 分院の新病棟が完成する。
	8月 御所地区営農飲雑用水施設が完成 する。	2011年（平成23年）	6月 渋田小学校の新校舎が完成する。 9月 台風12号により災害が発生する。 10月 笠田小学校の新校舎が完成する。
2002年（平成14年）	12月 天野トンネルが開通する。 4月 学校週5日制が導入される。 笠田ふるさと交流館が完成する。 コミュニティバスの運行が始まる。 かつらぎ斎場の休憩棟が完成し、 通夜、告別式に使用できるよう になる。	2012年（平成24年）	3月 8代目町長に井本泰造氏が当選する。 4月 四郷、四邑、志賀、新城小学校が 統合のため廃校となる。 4月 民設民営の学校給食が始まる（笠 田、渋田小学校）。
	9月 議員の定数を定める条例を公布す る（定数18人）。		京奈和自動車道（高野口IC～紀 北かつらぎIC）が開通する。
	12月 丹生都比売神社境内が国の史跡に 指定される。	7月	妙寺小学校の新校舎が完成する。
2003年（平成15年）	3月 三谷小学校の新校舎が完成する。 天野地区営農飲雑用水施設が完成 する。	2013年（平成25年）	3月 三谷、天野小学校が統合のため廃 校となる。 4月 民設民営の学校給食が始まる（妙 寺小学校）。
	7月 かつらぎ町発足45周年記念式典が 挙行される。	6月	弁当方式の学校給食が始まる（梁 瀬小学校）。
	第3次かつらぎ町長期総合計画基 本構想を策定する。	10月	第4次かつらぎ町長期総合計画基 本構想及び前期基本計画を策定する。
	10月 7代目町長に山本恵章氏が当選する。	2014年（平成26年）	10月 笠田公民館佐野分館・笠田児童館 が開館する。
2004年（平成16年）	6月 かつらぎ町・花園村合併協議会が 発足する。		旧隣保館（中飯降・丁ノ町・大谷 ・河南）が地域交流センターとし て開館する。
	7月 「紀伊山地の霊場と参詣道」が世 界遺産に登録される。かつらぎ町 では、丹生都比売神社と高野山町 石道が登録となる。	3月	京奈和自動車道（紀北かつらぎI C～紀の川IC）が開通する。
2005年（平成17年）	2月 かつらぎ町・花園村合併協定調印 式が実施される。	4月	民設民営の学校給食が始まる（笠 田中学校、妙寺中学校）。
	3月 第3次かつらぎ町長期総合計画基 本計画を策定する。	5月	四郷公民館が四郷地域交流センタ ー内に開館する。
	10月 かつらぎ町・花園村が合併し（新） かつらぎ町が発足する。	2015年（平成27年）	3月 道の駅「かつらぎ西」上り線が完 成する。
2006年（平成18年）	4月 国道480号平道路が開通する。 町内の全小中学校で2学期制が導 入される。	10月	丹生酒殿神社を含む高野参詣道三 谷坂が国の史跡に追加指定される。
	6月 議員の定数を定める条例を公布す る（定数16人）。	11月	四邑小学校を改築し四邑公民館が 開館する。
	8月 『かつらぎ町史』通史編を刊行し、 全4冊が完結する。	2016年（平成28年）	3月 笠田、大谷、妙寺、渋田、三谷幼 稚園が統合のため閉園となる。 笠田、中部、中飯降、渋田、四郷、 丁ノ町、妙寺保育所が統合のため 閉園となる。
2007年（平成19年）	3月 志賀高野山トンネルが開通する。 四邑、志賀、天野保育所が統合の ため閉園となる。	4月	公設民営の佐野こども園、三谷こ ども園が開園する。
	4月 通園バスの運行が開始される。	6月	旧天野小学校が天野地域交流セン ター（ゆずり葉）として開館する。
	6月 かつらぎ公園町民プールがリニュー ーアルオープンする。	7月	かつらぎ町・花園村合併10周年記
	11月 かつらぎ町自主防災組織連絡協議		

年 代	事 項	年 代	事 項
2017年（平成29年）	念式典、はなぞの温泉「花圃の里」竣工式典が挙行される。	2019年（平成31年）	川上酒かつらぎ文化伝承館が廃止される。
	9月 道の駅「くしがきの里」が完成する。		6月 第4次かつらぎ町長期総合計画後期基本計画を策定する。
	10月 丹生酒殿神社を含む高野参詣道三谷坂が世界遺産に追加登録される。		8月 妙寺防災コミュニティセンターが完成する。
	2月 妙寺公民館整備工事が完成する。		10月 かつらぎ西部公園の一部供用が開始される。 （パークゴルフ場18ホール）
2018年（平成30年）	4月 国道480号鍋谷峠道路・父鬼バイパスが開通する。	（令和元年）10月	9代目町長に中阪雅則氏が当選する。
	妙寺児童館を開設する。		
	9月 農産物処理加工施設が完成する。		
	10月 西洪田児童館（新館）が完成する。		
2019年（令和元年）	2月 佐野寺跡の整備が一部完成する。	2月 かつらぎ町発足60周年記念式典が挙行される。	
	4月 道の駅「紀の川万葉の里」にレストラン「まほろば」が完成する。	3月 宮本飲料水供給施設の供用を開始する。	
	旧新城小学校が新城地域交流センター（すぎのこ）として開館する。	4月 星山飲料水供給施設の供用を開始する。	



町内の主な官公署等の一覧

名 称	所 在	電話番号
かつらぎ町役場	丁ノ町	22-0300
かつらぎ町役場花園支所	花園梁瀬	0737-26-0321
かつらぎ総合文化会館（あじさいホール）	丁ノ町	22-0303
上下水道課	佐野	22-6566
笠田公民館（笠田ふるさと交流館）	笠田東	22-1004
妙寺公民館	妙寺	22-6668
三谷公民館	三谷	22-2184
大谷公民館	大谷	22-1644
見好公民館	東洪田	22-6917
四邑公民館	御所	22-5454
天野公民館	志賀	—
四郷公民館	広口	25-0002
笠田公民館 佐野分館	佐野	22-4566
河南地域交流センター	東洪田	22-6272
中飯降地域交流センター	中飯降	22-6074
丁ノ町地域交流センター	丁ノ町	22-6944
大谷地域交流センター	大谷	22-1008
四郷地域交流センター	広口	25-0002
天野地域交流センター	下天野	26-0350
新城地域交流センター	新城	—
笠田東児童館	笠田東	22-4764
高田児童館	高田	22-1864
四郷児童館	広口	25-0002
大谷児童館	大谷	22-4446
妙寺児童館	妙寺	23-1611
丁ノ町児童館	丁ノ町	22-7831
中飯降児童館	中飯降	22-8015
西洪田児童館	西洪田	20-5085
山崎児童館	山崎	—
笠田西部児童館	萩原	—
平沼田児童館	平沼田	—
名山児童館	東洪田	—
かつらぎ斎場	妙寺	22-6208
不燃物中間処理場	笠田東	22-6221
かつらぎ体育センター	丁ノ町	22-6916
道の駅 紀の川万葉の里	窪	22-0055
道の駅 かつらぎ西上り線	笠田東	22-7810
道の駅 くしがきの里	滝	25-0088

名 称	所 在	電話番号
かつらぎ公園	丁ノ町	22-3203
地域福祉センター（社会福祉協議会）	丁ノ町	22-4311
高齢者生活福祉センター（社会福祉協議会花園支所）	花園梁瀬	0737-26-0344
防災センター	丁ノ町	22-7799
かつらぎ町シルバー人材センター	丁ノ町	22-3514
花園生活改善センター	花園梁瀬	0737-26-0771
花園保健センター	花園梁瀬	—
はなぞの温泉「花圃の里」	花園梁瀬	0737-26-0171
笠田中学校	笠田東	22-1068
妙寺中学校	妙寺	22-0159
笠田小学校	笠田東	22-1020
大谷小学校	大谷	22-0132
妙寺小学校	西飯降	22-0031
洪田小学校	東洪田	22-2004
梁瀬小学校	花園梁瀬	0737-26-0304
花園幼稚園	花園梁瀬	0737-26-0123
（私立）聖心幼稚園	笠田東	22-1336
佐野こども園	佐野	22-6260
三谷こども園	三谷	23-3730
伊都消防組合	妙寺	22-0119
紀北青少年の家	中飯降	22-5530
（公財）和歌山県下水道公社伊都浄化センター	窪	22-2241
農林大学校	中飯降	22-2203
紀北農芸高等学校	妙寺	22-1500
笠田高等学校	笠田東	22-1029
和医大附属紀北分院	妙寺	22-0066
かつらぎ警察署	中飯降	22-0110
妙寺簡易裁判所・和歌山家庭裁判所妙寺出張所	妙寺	22-0033
妙寺区検察庁	妙寺	22-0140
国土交通省近畿地方整備局	妙寺	22-0213
和歌山河川国道事務所かつらぎ出張所	妙寺	22-0213
かつらぎ郵便局	丁ノ町	22-0651



かつらぎ町イメージキャラクター

- 発行年月／令和2年(2020)3月
- 発行／和歌山県伊都郡かつらぎ町
- 編集／かつらぎ町役場総務課
〒649-7192 和歌山県伊都郡かつらぎ町大字丁ノ町2160番地
TEL.0736-22-0300 FAX.0736-22-6432
<http://www.town.katsuragi.wakayama.jp/>
- 制作／かつらぎ町印刷組合